

令和5年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書 ①

学校経営ビジョン：子どもにとって「楽しい学校」、地域や保護者にとって「信頼できる学校」、職員にとって「働きやすい学校」
 【4段階評価 4:たいへんよく取り組んでいる 3:よく取り組んでいる方である 2:少し改善(努力)することがある 1:まだ改善(努力)をしなければならない】 ※()内は自己評価

評価項目	具体的目標	方策	自己評価		成果と課題	評価者評価	学校関係者評価委員の意見
			目標別	項目別			
生徒指導の充実	望ましい人間関係の醸成	○教育相談等に基づいた指導の充実(学校生活アンケートや教育相談の実施、ハッピースマイル委員会の実施、関係機関との連携など)	3	3	○全職員で児童理解に努め、指導を行った。また、人権週間に合わせて掲示物の工夫、朝の会での話、道徳や学級活動の授業を行ったりすることにより、「望ましい人間関係の醸成」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。また、毎月実施している児童の教育相談では、一人一人に寄り添い、話を聞いたり、助言することができた。今後も、全職員ですべての児童を見守り、指導していく。	4	○今後も学校だけでなく、地域全体で児童を見守り、育てていくことが更なる望ましい人間関係の育成につながるものと考ええる。 ○メディアとの上手な接し方の指導にも取り組んでおり、十分評価できる。今後も継続して指導して欲しい。 ○基本的な生活習慣の定着も図られており、十分評価できる。今後も更なる定着を図って欲しい。 ○自他の命の尊さや大切さを学ぶ学習についても工夫しながら指導がなされていると考える。
		○人権教育の推進(研修会の実施、学級活動の年間計画の見直し、メディアとの上手な接し方の指導など)					
	基本的な生活習慣の定着	○家庭との連携による指導の推進(個人面談、全体・学級懇談などの機会の活用など) ○全職員の共通理解・実践による指導の徹底					
命を大切にし、守る教育の推進	命を大切にし、守る教育の推進	○命の教育の充実(千羽鶴を贈る活動や平和集会の実施、県いのちの教育週間での取組、関係機関と連携した指導など)	3	3	○自他の命の尊さや大切さを学ぶために児童と保護者を対象に学校保健委員会で外部講師(助産師)を招聘し講話を行った。また、いのちの教育週間に合わせて、道徳の授業を行ったり、掲示物を工夫したり、朝の会等で命に関する話をしたりした。その成果として「命を大切にし、守る教育の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。	4	
		○関係機関と連携を図った安全教育、防災教育の実施(警察署や消防署の署員を招聘しての指導)					
確かな学力の向上	個々の学力の向上	○スキルアップタイムの充実(学力テストの問題分析や結果分析に基づく指導)	3				
		○基礎的・基本的な知識・技能の習得と、活用する力を育成する取組の推進					
	読書の習慣化	○本にふれる機会の設定(読書の時間の確保、市図書館の職員による読み聞かせの実施など)	3	○月1回の市立図書館職員による読み聞かせや読書の時間の確保など本にふれる機会の設定や読書の奨励に取り組んできたが「読書の習慣化」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができなかった。今後			
健やかな体の育成	体力向上プランに基づいた取組の推進	○教科体育の充実や外遊びの奨励(合同体育の実施、職員も一緒に遊ぶ取組など)	3	3	○体力向上プランに基づき、今年度も教科体育の授業開始時に鉄棒、肋木等を用いたサーキットトレーニングに取り組みせたり、毎朝の活動としてストレッチに取り組みせたり、昼休みに職員も一緒に遊んだりするなどの取組により、体力テストでは半数以上の児童が体力賞(A判定)を受賞した。また、「体力向上プランに基づいた取組の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価も100%を達成することができた。	4	○体力づくりについては、小規模校ならではの取組がなされており、十分評価できる。今後も体力向上に努めて欲しい。 ○生活リズムチェックの結果から児童が伸び伸びと明るく充実した学校生活を送っている様子が伺える。
		○年間を通した体力づくりの指導(サーキットトレーニング、一輪車、持久走など)とその成果を発表する場の設定					
健康的な生活習慣の定着	健康的な生活習慣の定着	○保護者と連携した「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の習慣化のための取組の実施(生活リズムチェックの活用など)	3				
		○「弁当の日」や、栄養教諭と連携した食育指導の実施(年2回の弁当の日の実施、朝ご飯をつくる活動の実施など)					

令和5年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書 ②

学校経営ビジョン：子どもにとって「楽しい学校」、地域や保護者にとって「信頼できる学校」、職員にとって「働きやすい学校」

【4段階評価 4:たいへんよく取り組んでいる 3:よく取り組んでいる方である 2:少し改善(努力)することがある 1:まだ改善(努力)をしなければならない】 ※()内は自己評価

教 育 中 高 推 進 貫	小中高連携による集合学習の実施	○他の学校との直接・間接的な交流学習の推進(他の小学校との交流学習、中学校に出向いての学習、タブレットを使ったオンデマンド学習など)	4	3	○北方小、福島小等、市内5校の小学校との年間13回の直接的な交流学習の実施、5年生のふれあい体験やキャリア教育ワークショップ、市内小学校との間接的な交流学習の実施により、「小中高連携による集合学習の実施」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。	4	○他校の児童との交流学習は、秋山小にとっては重要な取組である。更なる工夫や取組を期待したい。 ○郷土を愛し、郷土に誇りをもつための学習や体験は、欠かすことのできないものであり、今後も創意工夫しながら進めて欲しい。	
	「くしま学」を生かし、郷土を愛し、郷土に誇りをもつための学習の工夫	○くしま学カルタの活用(朝の活動でのくしま学かるた取りの実施など)	3					○くしま学カルタに計画的に取り組んだり、児童が実際に地域に出かけ、学校の歴史を調べたり、まとめたりすることを通して、「くしま学の活用」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100パーセントを達成することができた。
		○実際に行く、見る郷土学習の推進(発表の機会の設定など)						
と の 連 携 ・ 地 域	地域と連携を図った取組の推進	○OPTA組織や地域と連携した活動(グランドゴルフ交流会、椎茸駒打ち、そば打ち体験などの実施など)	3	4	○グラウンドゴルフ交流会、給食試食会や敬老の日の手紙等を通して地域の方との交流を行ったことにより、「地域と連携を図った取組の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。 ○月1回の地域回覧を用いた「学校だより」の発行や、ホームページの定期的な更新により、「家庭・地域への情報発信」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。	4	○児童と高齢者とのグラウンドゴルフ交流が定着し、高齢者も毎年、楽しみにしているので継続して欲しい。 ○今後も学校からのきめ細かな情報発信を継続して欲しい。 ○今年度は、椎茸駒打ち体験や食育そば打ち体験にも取り組み、地域と連携した取組ができた。今後も学校と地域が連携した取組を行うことで地域が学校経営に協力できるようにしたい。	
	家庭・地域への積極的な情報発信	○各種「たより」「メール」「ホームページ」等での情報の発信(学校だよりの月1回の発行、必要に応じたメール配信、ホームページの毎日更新など)	4					
	地域や保護者の意見を生かした学校経営	○学校への意見に対する組織的かつ真摯な対応 ○学校評価アンケート(保護者・地区民対象)の実施と活用	3					